

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
涌谷町	②学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	学校において、教員は通常の授業の他、環境美化や図書整理等教員の負担が多くなっている。 また、地域住民にとって「学校」は自らの子どもが通学していなければ入れないところになっており、地域と学校の交流がない。	・学校と地域それぞれに学校支援ボランティアの活用への理解を深めるため、啓発活動が続ける。 ・地域学校協働活動推進員は、学校と地域の連絡調整を担い、教員の負担軽減を図る。 ・学校と地域学校協働推進員が、本事業について相互理解を図り地域で活動する各種団体(老人クラブ、自治会等)と協力連携する体制づくりを行う。	学校・家庭・地域が連携し、教員の業務負担が軽減し、なおかつ、地域住民との交流を図ることができる。	ボランティアの人数	475	人	1000		
涌谷町	③学校と家庭の課題	家庭等における学習習慣の定着	学校以外で学習に取り組む時間を確保できない児童生徒が増えており、自発的に問題意識を持って学習に取り組む習慣を中々定着させられないことが、学校と家庭の共通の課題となっている。	・統括的な地域学校協働活動推進員等に含まれる「学び支援コーディネーター」を任用し、学習支援員への指導助言及び事業の評価・検証を実施する。 ・夏季及び冬季休業に4日ずつ計8日間の学習支援を実施し、学習習慣の定着を図り、安心して学べる学習の場を提供する。	学校以外で日常的に、特に平日学習に取り組む児童生徒が増える。	平日学校以外で学年×10分間の学習時間が確保できている児童生徒の割合 (涌谷町教育委員会のアンケート調査)		%	20		